

2005年度 日本液晶学会第3回理事会議事録

日 時：2005年7月23日(土)午後1時00分～5時30分

会 場：東京工業大学イノベーションセンター 805号室(田町)

出 席：竹添秀男, 赤木和夫, 鳥海弥和, 木村直史, 清水 洋, 高橋泰樹, 竹内清文, 伊達宗和,
内藤裕義, 中山敬三, 平岡一幸, 藤掛英夫, 松川秀樹, 松下哲也, 山本 潤

欠 席：小野浩司, 川月喜弘, 袋 裕善, 森 裕行

オブザーバー出席：沼田(事務局)

議 案

1) 承認事項

1-1 会員入退会の承認

- ・2005年度4～7月の入退会者数が会員委員会より報告され, 承認された。

1-2 学会賞選考委員会

- ・赤木副会長より2005年度学会賞選考委員会での選考結果が報告され, 了承された。

功績賞：和田富夫君(元(株)シャープ)

業績賞：応用分野 佐藤 進君(秋田大学), 基礎分野 森 章君(九州大学)

奨励賞：村重 毅君(NHK放送技術研究所), 古海誓一君((独)物質・材料総合研究機構)

論文賞 A:

J. ZAHO 君, 尾崎幸洋君(関西学院大): "Method Based on Polarized Infrared Spectroscopy for the Determination of the Spatial Orientation of Transition Dipole Moments of a Ferroelectric Liquid Crystal", *Applied Physics Letters*, **83**, 389-391 (2003)

中尾健次君, 鈴木大一君, 小島徹也君, 塚根みどり君, 分元博文君(東芝松下):
"High-Speed Bend Transition Method using Electrical Twist Field in OCB Mode TFT-LCDs" *SID04 Digest*, 1416 (2004)

岸川圭希君, 中原翔一郎君, 西川洋平君, 幸本重男君, 山本 忠君(千葉大学)

"A Ferroelectrically Switchable Columnar Liquid Crystal Phase with Achiral Molecules: Superstructures and Properties of Liquid Crystal Ureas", *Journal of American Chemical Society*, **127**, 2565(2004).

論文賞 B:

生方 俊君, 是津信行君, 関 隆広君(横浜国大ほか): 「液晶性アゾベンゼン高分子における高感度な光誘起物質移動」, 『液晶』、Vol. 8, No. 2, pp.94-105 (2004)

著作賞:

高頭孝毅君, 長谷川雅樹君, 向殿充浩君, 伊藤信行君, 長谷川 励君, 坂本正典君(東芝ほか):
"Alignment Technologies and Applications of Liquid Crystal Devices" Taylor & Francis, Series: Liquid Crystals Book Series Volume: 5, 2005 ISBN: 0748409025

2) 報告事項

2-1 総務委員会 (資料 05-07-1)

(メール審議)

- ・第2回理事会より第6～10回のメール審議が行われ、第7回メール審議(審議内容:行事開催の規定案)は結審されておらず継続審議事項となった。本件は総務担当と行事担当が協力の上、再度案の作成を行う。その他は決裁済みであることが報告された。

第6回メール審議:2005年度第4回理事会日程

第7回メール審議:行事開催の規定案

第8回メール審議:2006年度液晶討論会開催地候補選定

第9回メール審議:第2回理事会議事録案

第10回メール審議:プラスチック形成工学会第86回講演会協賛(審議中)

(2006年度液晶討論会開催地)

- ・メール審議の結果、2006年度液晶討論会開催地を秋田大学とし、実行委員長を同大学の佐藤進先生にお願いすることとなり、佐藤先生にはご了承いただいた旨、報告された。
- ・佐藤先生からは秋田大学での他学会開催、関連学会の開催予定日を考慮して、2006/9/11(月)～16(土)で教室を仮押さえしたとのご連絡をいただいた旨、報告された。
- ・9/11～16で他の主要学会開催と重なっていないことを理事会で再度確認し、佐藤先生に総務理事から実際の日程決定に関して理事会の意向は土日を除くという要望のみ御返事することとなった。

(サマースクール)

- ・現状では色々あたってはいるものの次年度の開催地及び担当は決まっていないことが報告された。
- ・液晶討論会を含め、これらの行事に関する運営は慣例では行事委員会主導であったことが鳥海副会長から指摘があり、1月に新理事会が発足時に次年度の開催地公募をかけるなど今後の実施案の作成、とりまとめが必要である。先の審議をまとめの方向で継続することとした。

2-2 財務委員会 (資料 05-07-2)

(会計報告)

- ・2004年度決算および事務センター問題での被害額および対応について併せて報告され、了承された。
- ・2005年度中間決算が掲示され、支出の部で「コンビニ会費振込手数料」を管理費に科目として挙げ、計上した旨、報告された。
- ・2006年度予算案が掲示された。平岡財務理事より、2006年度会費振込手数料を今年度同様に学会負担とするかどうかの議案が出された。学会負担の場合、振込手数料分は会誌刊行費が約120万円程度削減できており、その分を充当することが可能である現状も補足された。
- ・編集委員会からは削減分は手数料負担に回すのではなく、フォーラム運営など学会の事業に対して回すなど、有効利用できればよいのではないかとの意見も出されたが、検討の結果、理事会としては次年も現状どおり学会負担ということで最終的には了承を得た。
- ・フォーラムが1増によって6フォーラムとなったことから、フォーラム事業収入の予算を120万円に変更するよう藤掛研究会担当理事より要望があり、了承された。

2-4 編集委員会（資料 05-07-3）

- ・前回理事会で指摘のあった編集委員会規則は 2002 年 12 月に理事会承認を得ていることを確認。規則は再度編集委員会で見直した上でホームページに掲載することとした。
- ・著者本人から Errata 掲載依頼があり、編集委員会での審議の結果、編集後記の前後に掲載することとした。
- ・10月号（Vol.9, No.4）は特集号とし、「液晶ディスプレイ用機能フィルム」を企画している。
- ・編集委員の定例交代を行った。これを機に、委員の交代時のサポート、編集委員の分野間のバランスをとることを目的として編集副委員長と各フォーラム主査が連絡を取り合うシステムを試行することとした。

2-5 情報委員会（資料 05-07-4）

- ・前回理事会からの活動報告（ホームページ更新 12 回，NewsLetter 送信 1 回，JLCS-News 配信 25 件，求人掲載 2 件）が行われた。
- ・国立情報学研究所（NII）の電子図書館システム CiNii の運用について本年 12 月までに NII と契約をする必要があり、情報委員会より、
 - 予稿集の公開とデータの提供は従来どおり継続する。
 - 2007 年 3 月までの利用料については新料金体系を適用する。
 - J-Stage でも予稿集公開を行っているが、その公開時期は CiNii での無料公開時期と同じくする。以上の提案が出され、提案どおりの内容で契約を締結することが了承された。

2-6 会員委員会（資料 05-07-5）

- ・ポスター、パンフレットは従来のデザインを踏襲する。
- ・ポスター、パンフレットの印刷部数は会員委員会で検討し、決めることで了承を得た。

2-7 研究委員会（資料 05-07-6）

- ・今年度の各フォーラムの開催状況が報告された。
- ・フォーラム参加費について、各フォーラムでの統一価格設定案が出された。設定するのは難しいかもしれないが、安すぎたり高すぎたりも問題である。また、参加費低価格のため収益が上がらないだけでなく、今まで講演者への謝礼、旅費等も渡していない場合があり運営上の問題も露呈している。
- ・参加費、講師謝礼および旅費などお渡しすることを前提として、主査会議で再度検討することとした。

2-8 2005 年液晶討論会実行委員会（資料 05-07-7）

- ・中村実行委員長の代理である伊達情報担当理事より、開催概要、会場設備、作業日程について報告された。

3) 審議事項

3-1 役員推薦（鳥海副会長）

- (1) 新たな役員候補被推薦者 8 名に対して推薦受諾の依頼完了。
- (2) 次年度が 2 年目となる現理事には継続の確認を完了。
- (3) 今回推薦を受けた数名の候補者は会則および慣例上候補とすることが難しい状況であることが報告さ

れた。

3-2 役員選考・選挙開票審議

- (1) 選考委員会：鳥海弥和，中村尚武，清水 洋の 3 名で構成したい旨，鳥海選考委員長から報告され，了承された
- (2) 開票作業：鳥海委員長より開票立会人の中村，清水両選考委員は関西から出てくるのは大変であるので，その代理として委員長が東京在勤の方で立会人を選定することの提案があり了承された。

3-3 会則改定

(1) 学会費

前述のように財務委員会としては来年度も振込手数料学会負担としたい要望が出ており了承を得たので細則の会費変更はなしとした。

2. 事務局住所の変更等

現状への変更を行う。

3. その他会則全体

鳥海副会長から何点が修正すべき，修正したほうがよいと思われる点が提示された。また変更点等各理事より意見があれば 8/10 までに送るよう要望が出された。

3-4 会員委員会（会員資格）

- ・会費未納者に対する細則改定案が以下のように示された。大幅な変更はないが，内容が重複する部分（細則 9 条の二と改定案五）が見受けられたため，調整を再度行った上で施行することが了承された。

[改訂前]

第 9 条 理事会は，会員資格停止された者が滞納年度会費とともに当該年度会費を納入したときは，納入時から会員資格を再取得することを認めるものとする。

二 理事会は，会員資格停止期間が 2 会計年度以上にわたる会費未納者の除名を総会に提案することができる。

第 14 条 会費または購読料を滞納した会員には会誌の配布を停止する。

[改訂案]

第 9 条 理事会は，会費未納期間 1 年未満の会員について，当該年度内の会費納入を前提に会員資格を維持するものとする。

二 理事会は，会費未納期間 1 年以上 2 年未満の者に対して，会員資格を停止するものとする。

三 理事会は，会員資格を停止された者が滞納年度会費を全納した場合，会員資格の復帰を認めるものとする。

四 理事会は，会費未納期間が 2 年以上の者に対しては，会員資格維持の意思が無いものと見なし，脱退を希望しているものと認識，処置を行う。

五 理事会は，会員資格停止期間が 2 会計年度以上にわたる会費未納者の除名を総会に提案することができる。

第 14 条 会費または購読料を滞納した会員には、会費・購読料が納められるまでの間、会誌の配布を停止する。

3-5 研究委員会（フォーラム関連の理事体制見直しと主査会議の新設）

- ・藤掛研究担当理事より、個別フォーラム担当理事（兼務を含め 6 名）、研究委員会担当理事（2 名）の体制を一元化して全フォーラムを統括する研究フォーラム担当理事を 2~3 名設けることが提案され、審議の結果、了承された。
- ・主査会議の新設については、もともと主査会議が存在しており、今後改めてこれを実施してゆく。

4) その他

- ・次回理事会：2005 年 9 月 8 日（木）12:00~13:00、2005 年度日本液晶学会討論会期間中

配布資料

資料 2005-07-01：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（総務委員会）

資料 2005-07-02：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（財務委員会）

資料 2005-07-03：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（編集委員会）

資料 2005-07-04：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（情報委員会）

資料 2005-07-05：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（会員委員会）

資料 2005-07-06：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（研究委員会）

資料 2005-07-07：2005 年度第 3 回日本液晶学会理事会資料（2005 年度日本液晶学会討論会実行委員会）

日本液晶学会理事会アクションリスト

2003-1-09：行事開催地公募制再検討（SS 運営委員会、討論会運営委員会）

2003-1-12：営利団体主催展示会協賛見直し（総務、財務、会員、会長、副会長）

2003-4-01：講演会・討論会の開催方法の検討（総務、財務）

2004-1-05：幽霊会員の防止対策・会費徴収方法・学生会員の管理・登録フォーマットの整備（会員委員会）

2004-2-02：出版事業に関するプロジェクトチーム編成、および調査（会長、副会長、総務、編集委員会）

2005-1-02：学会賞推薦基準の見直し（会長、表彰委員会委員長）

2005-1-03：役員数の見直し（会長、副会長、総務委員会）

2005-1-05：会員資格の内規制定（会長、副会長、会員委員会）

2005-2-01：会則変更のたたき台作成と調整（会長、副会長、総務委員会）

2005-2-02：会費未納者に対する会則への明文化（会員委員会）

2005-2-03：サマースクール、フォーラムの口座開設と管理方法（会長、副会長、総務委員会、研究委員会）

2005-3-01：2006 年度役員候補確定（選挙管理委員会）

2005-3-02：2006 年度予算案最終調整（副会長、財務委員会、事務局）

以 上